

道徳学習計画案

日時 2005年 11月 30日
児童 倶知安町立北陽小学校3年
男子18名女子15名計33名
授業者 教諭 中村和男

1. 主題名

「だれのために？」《2-(2):思いやり・親切、4-(1):規則遵守・公德心》

(資料名:おにいちゃん、とって〈江森浩:作〉)

2. 主題設定の理由

(1) 主題と子どもの関わり

休み時間などは、困っている友だちに声をかけたり、泣いているクラスの友だちによりそってあげたりといった様子が見られる。しかし、女の子を中心とした数名の子どもに顕著な行動でもあり、「思いやり・親切」といった心の育ち、道徳的実践力といった部分では個人差が見られる3年1組である。

人との関わりから生まれる「思いやりの心」や「親切の心」を、他の様々な心とともに今まさに体験、体感し、構築している子どもたちである。したがって、自分たちも経験しそうな具体的な場面を通して考えることにより、自分の中の「思いやり・親切」を見つめていきたい。

また、ルールやきまり、先生に注意されたことを守ろうという意識は強いものの、全体的にのんびりしたところがあり、「時間や周りを見て行動するように!」「次のことを考えて行動するように!」等、テキパキとした行動を求められることも少なくない。「きまりは守るもの」といった表面的な部分だけでなく、ルールやきまりの存在意義が「みんなが気持ちよく過ごすため」「みんなに迷惑を掛けないため」といったところにあるということにも迫ればと考えている。

特に、本資料「ヒロシにいちゃん、とって!」は、どちらを選んでも、その根底には「相手のことを思って…」といった子どもの考えが予想される。そのあたりを深く掘り下げていくことで、ねらいとしている道徳的価値の自覚に迫れるのではないかと考えている。

(2) 具体的な手だて

●視覚に訴える教材を提示する!

本時では、子どもたちが話の世界に入りやすく、さらに豊かにイメージを膨らませることができるよう、音読だけでなく、人物のイラスト使用したり、重要な言葉の掲示などをしながら、子どもたちにとって分かり易い教材提示を行っていきたい。

●書く活動を通して自分の意見を整理する!

本時では、上に記したような内容項目に迫ることがねらいであるが、「自分で判断し決定すること」を経験する機会の一つとしてもとらえている。そのために、自分の意見や考えを整理するために、また、意欲的な発言の根拠とするためにも、学習シートへ記入する活動を取り入れている。

●モラルジレンマ資料で価値内容を深める!

「道徳の時間」は、現在の自分の道徳的価値を見つめる時間である。二者択一の環境に身を置くことで、さらに、友だちの考えや意見に耳を傾けることで、道徳的価値の自覚を深めてほしい。したがって、モラルジレンマ資料を用いることによって、自分の位置が確認しやすくなり、さらには友だちとの交流が活発になるのではないかと考えている。

4. 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・ひろしの迷いについて想像したり、自分なりに判断したりする活動を通して、相手のことを思いやり、親切にする心情や約束や社会のきまりを守り、公德を大切にすることを育てる。

(2) 本時の展開

	子どもの活動	教師のかかわり
つ か む	<p>1. 「ヒロシにいちゃん、とって!」のお話を聞き、人物や状況について正確に把握する。</p> <p>★人物は? ・ヒロシ君 ・さとし君 ・さゆりちゃん</p> <p>★この後、どうなりましたか。 ・グラウンドでドッチボールをした。 ・教室にもどろうとした。 ・さゆりちゃんに声をかけられる。等</p>	<p>●お話をじっくりと、ていねいに読む。また、子どもがイメージしやすいよう、柔軟に進める。</p> <p>◆だれが登場しますか。 ◆この後どうなりますか? など</p>
	<p>2. ヒロシのその後の行動について、自分で判断するとともに、その考えを学習シートに書く。とくに、行動の理由についてくわしく書く。</p>	<p>◆あなたなら、教室にもどりますか。それともボールをとってあげますか。学習シートに書きましょう。理由も書きましょう。</p> <p>●あまり手が進まない子どもについては、Tから「こういう場合は?」といった声かけを行う。</p>
ふ か め	<p>3. 自分の考えを発言する。また、友だちの考えに意見を述べたり、質問したりする。</p> <p>(教室にもどる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生にしかられるから。 ・きまりだから。 ・おくれると、次の見学もおそくなるから。 ・おくれると、みんなにめいわくがかかるから。 ・おくれると、見学先の人たちにも、めいわくをかけてしまうから。 <p>(ボールをとる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さゆりちゃんをたすけてほめられたい。 ・さゆりちゃんがこまっているから何とか助けたい。 ・困っている人をそのままにしておけない。 ・事情を話せば、クラスみんなも、先生も、わかってくれるだろう。 	<p>◆それでは、自分の考えを發表しましょう。</p> <p>●発言については、なるべく自由にのびのびとできるようにしたいが、多くの考えに触れさせたい。したがって、こちらからの指名も行う。</p> <p>●質問や意見も取り上げたい。特に、少々熱くなるくらいがちょうどいい。</p>
	<p>5. それぞれの行動をとった場合の人物の気持ちを考える。</p> <p>(時間通り、みんなは…)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に反応はないか? (おくれたら、みんなは…) ・何やってたんだよ! ・みんな心配してたんだよ。 ・みんなが迷惑をした。 <p>(ボールをとる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おにいちゃんありがとう ・これでまたボールで遊べる(ボールをとらない) ・おにいちゃんのケチ! ・なんで助けてくれないの? 	<p>◆もし、ヒロシ君がおくれて教室に戻ったら、教室にいるみんなは、どう思うでしょうか。 など</p> <p>●時間が限られているため、ここでは少数意見の立場のものを取り上げ、意見を交流したい。</p>
(ふ り か え る)	<p>6. 再度、考えを学習カードに書く。そして、発表する。(数名)</p>	<p>●特に、考えが変わった子どもなどを紹介したい。</p>

(資料)

ひろし
ヒロシにいちゃん、とって！

名前()



2時間目が終わり、休み時間になりました。3年生のヒロシ君は、グラウンドでドッチボールを始めました。夢中になって遊んでいると、たけし君が、「3・4時間目はバスで工場見学に行くから、そろそろ教室にもどろう。」と言いました。

みんながドッチボールをやめ、教室に行こうとした時、「ヒロシにいちゃん！」と、よぶ声がしました。ふり向くと、となりの家の1年生、さゆりちゃんでした。

「ボールが上にあがっちゃったの、
おにいちゃん、とって。」



上を見ると、木の枝にボールがひっかかっています。

取ろうとしましたが、とどきません。棒があればとどきそうです。さがしに行こうとした時、3時間目のチャイムがなりました。「ボールをもとさないと、もうボールで遊べなくなっちゃうの。おねがいだから、ぜったいとって！」と言うさゆりちゃんは、今にも泣き出しそうです。

でも、3時間目は、3年生みんなで、バスに乗り、工場見学に行くことになっています。



さあ、ひろしくん
さあ、ヒロシ君は、どうしたらよいでしょうか。